

令和5年7月14日

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉会長 小野祐司
(国立研究開発法人科学技術振興機構 主任専門員)

「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉（以下コンソーシアム）」令和5年度第1回運営委員会及び総会を開催しました。なお、運営委員会はメール開催、総会を令和5年6月20日に対面で開催しました。

1

令和5年度 第1回運営委員会及び第1回総会

総会の内容は、以下の通りです。

(1) 議案

- 第1号議案 令和5年度第1回運営委員会の結果報告について
- 第2号議案 令和4年度事業報告及び会計収支決算報告について
- 第3号議案 令和5年度事業計画（案）及び会計収支予算（案）について
- 第4号議案 令和5年度会長等の選出について

(2) 協議

- ・コンソーシアムにおける今後の活動

【小野会長挨拶】

日頃からコンソーシアムの事業に深い御理解と、絶え間ない御支援を賜りまして誠にありがとうございます。コンソーシアムは、平成26年に発足しましたので、本年10年の節目を迎えることが出来ました。

この場をお借りして皆様にお礼申し上げます。ありがとうございます。何度も話して恐縮ですが、発足した最初の総会におきまして会員の企業担当者様から「同じような会は何度も出来て直ぐになくなる。是非継続して欲しい」との要望が出されたことがつい昨日のように思い出されます。

さて、文部科学省では、留学促進キャンペーン「トビタテ！留学 JAPAN」を推進して若者の海外留学への機運の醸成を図るとともに、民間企業等の協力を得た「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」の展開や国費による海外留学支援制度の推進によって、学生等の経済的な負担の軽減等に取り組んでいるようです。つまりは国策で留学を奨励しています。

野球の大谷翔平選手が活躍するエンジェルスの本拠地があるロサンゼルスには、有名な UCLA カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (University of California, Los Angeles) があります。

私立大学の学費が高いのはほぼ世界共通ですが、アメリカ西海岸を代表する名門校の一つ、UCLA の2021年度から一年間の学費や教科書、その他留学に係る諸経費を合わせると学費は、13,225 ドル(約181万1825円) カリフォルニア州居住者の場合の合計は、34,667 ドル(474万9379円) ですが、カリフォルニア州非居住者の場合(多くの日本人留学生在が該当すると思いますが)、カリフォルニア州非居住者負担金が、28,992 ドル(約397万1904円) プラスされます。そうすると63,669 ドル(約872万2653円) となります。カリフォルニア州居住者であれば、ハーバード大学の半分以下の費用で学位を取得できる計算になります。また、日本人を含むカリフォルニア州非居住者に対しては負担金が別途課されるため、254,676 ドル(約3489万612円) と、学部にもよりますが、日本のおよそ3~4倍というような高額となります。このような高額の学費を負担してまで海外に飛び立てというのは、外国から日本をみて、世界における日本の立ち位置をしっかりと見つめることにあると思うのです。外国に留学した大学生が「日本の良さはものづくりにある」と卒業後の進路をメーカーに換えるという話をさせていただいたことがあります。世界に

誇るものづくりこそ日本人の魂が刻まれた大切なものです。

ものづくりの関係者が集った本コンソーシアムはこれからますます重要となってくるにちがいありません。10年を一つのステップとして、皆さんとともに次の10年に向けて歩んでいきたいという思いです。

引き続き本コンソーシアムの御支援を賜りますとともに皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(1) 議 案

【第1号議案】運営委員会の結果報告について（令和5年6月6日電子メール開催）

電子メールによる運営委員会を開催したところ、総会議案の第3号議案まですべてについて、全員賛成により承認されたことを報告します。

【第2号議案】令和4年度事業報告及び会計収支決算報告について

第2号議案—1 令和4年度事業報告

1 第1回運営委員会・第1回総会

(1) 日 時：令和4年6月6日（月）運営委員会

令和4年6月21日（火）総会

(2) 開催方法：運営委員会は電子メール開催・総会はリモート開催

2 「工業系人材育成コンソーシアム千葉」活動報告書（中間報告）提出

令和4年7月27日、コンソーシアム立ち上げから令和3年度末までの8年間の活動報告をまとめたので、千葉県企画管理部教育政策課高校改革推進室長の島崎一広室長に、コンソーシアムの小野会長から提出した。

3 千葉県産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア

(1) 日 時：令和4年10月23日（日）10時00分～15時00分

(2) 会 場：きぼーる（アトリウム）

4 天羽高校及び姉崎高校の見学

コンソーシアム事務局の小野会長ほかの関係者で両校の実習授業を見学した。見学後、校長ほか関係者と意見交換を行った。

(1) 天羽高等学校工業基礎コース

令和4年10月26日（水）

(2) 姉崎高等学校ものづくりコース

令和4年11月21日（月）

5 第1回ワーキンググループ会議（報告）

(1) 日 時：令和4年11月11日（金）

(2) 場 所：専門学校 国際理工カレッジ

(3) テーマ：コンソーシアム千葉として新たに推薦枠を開拓する

6 第36回総合技術コンクールへの後援

(1) 日 時：令和4年11月26日（土）9:30～15:30

(2) 会 場：千葉県立東総工業高等学校

7 職員研修

(1) 日 時：令和4年12月27日（火）

(2) 開催場所：日本大学理工学部 船橋キャンパス

(3) 講 師：日本大学理工学部航空宇宙工学 准教授 阿部新助 氏

(4) テーマ：課題研究の取り組み方

8 第2回運営委員会・第2回総会

(1) 日 時：令和5年2月14日（火）

(2) 場 所：千葉県立現代産業科学館

(3) 時 間：運営委員会：13時30分～14時10分

総 会：14時30分～16時00分



9 生徒研究発表会

- (1) 開催期間：令和5年2月6日（月）から2月17日（金）まで
- (2) 開催方法：WEB開催

10 コンソーシアム便り

○第28号（令和4年7月15日（金）発刊）

1 令和4年度第1回運営委員会及び総会の内容（議事）

- 第1号議案 令和4年度第1回運営委員会の結果報告について
- 第2号議案 令和3年度事業計画及び会計収支決算報告について
- 第3号議案 令和4年度事業計画（案）及び会計収支予算（案）について
- 第4号議案 令和4年度会長等の選出について
- 第5号議案 コンソーシアム設置要綱の一部改正について
- 第6号議案 新規会員の入会について（岡本硝子株式会社）

2 協議 コンソーシアムにおける今後の活動

○第29号（令和4年12月19日（月）発刊）

- 1 令和4年度第1回ワーキンググループ会議について
- 2 天羽高等学校・姉崎高等学校見学

○第30号（令和5年3月20日（月）発刊）

- 1 令和4年度第2回運営委員会及び総会の内容（議事）
- 2 第9回生徒研究発表会
- 3 令和4年度職員研修会



11 課題研究型キャリア教育ゼミ

- ・拠点校：県立千葉工業高等学校
- ・連携校：県立千葉女子高等学校・県立千葉商業高等学校
- ・テーマ：園児・児童の関心をひく「ロボット」を協働製作するとともに、実際に地域の幼稚園や小学校に赴き、ロボットのプログラミングや操作方法などを園児・児童に体験させる出前授業を行った。

12 その他

- ・千葉県教育長（富塚昌子）県立千葉工業高等学校視察（令和4年6月27日（月））
- ・千葉県議会議員県立千葉工業高等学校視察（令和4年12月14日（水））
- ・中学生向け工業高校PRチラシを作成（ポスターの縮小版：令和5年2月）

第2号議案—2・3 令和4年度会計収支決算報告（千工会・双葉電子）

令和4年5月16日付で、一般財団法人千工会様と双葉電子記念財団の会計監査に関しましては、関係諸帳簿、領収書等の会計監査を監事にしていただきました。結果、収入、支出とも妥当であり、正確に処理され適正であると小野智之監事と黒川康宏監事に認めていただきました。

【第3号議案】令和5年度事業計画（案）及び会計収支予算（案）について

第3号議案—1 令和5年度事業計画（案）について

- 1 運営委員会・総会
 - (1) 令和5年6月開催予定 第1回運営委員会・第1回総会
 - (2) 令和6年2月開催予定 第2回運営委員会・第2回総会
- 2 事業計画
 - (1) 実践力育成事業
 - ア 令和5年9月開催予定 高校生理科研究発表会（参考）
 - イ 令和5年11月開定 総合技術コンクール（参考）
 - ウ 令和6年2月開催予定 生徒研究発表会（ホームページ開催）
 - (2) 情報発信・広報事業
 - ア 令和4年10月開催予定 産業教育フェアへの参加（きぼーる）
 - イ 小中学校への理解促進の検討
 - ウ コンソーシアム便り発刊
- 3 職員研修 令和5年9月開催予定
- 4 ワーキンググループ会議 令和5年11月開催予定

第3号議案—2 令和5年度会計収支予算(案)について

昨年度は一般財団法人千工会様より助成金10万円を頂き有意義に使わせていただきました。今年度も10万円を助成していただき、昨年度と同様、事務運営に係わる費用として使わせていただきます。

また、公益財団法人双葉電子記念財団様から昨年度は、18万円を頂き有意義に使わせていただきました。今年度は、12万円増額していただき30万円を協賛していただきました。

小・中学校等への出前授業の補助や来年2月に予定しています生徒研究発表会に関わる参加者の旅費や運営費として有意義に使わせていただきます。

【第4号議案】令和5年度会長等の選出について

設置要綱では、「会長・副会長の任期は1年とし、再選を妨げない。会長副会長は運営委員会からの推薦により、総会において決定する」となっており、監事についても「コンソーシアムに監事2名を置く。運営委員会からの推薦により総会において決定する」となっております。

総会に先立ち、運営委員会をメール開催し、本年度も引き続き会長として、現在国立研究開発法人・科学技術振興機構主任専門員の小野祐司様、また、監事には千葉県立京葉工業高等学校・校長の大岡正和様とJFEスチール株式会社東日本製鉄所労働人事部千葉労働人事室・室長の小野智之様を推薦し、その後、総会で承認されました。なお、副会長は今年度空席となりました。

(2) 協 議

・コンソーシアムにおける今後の活動について(事務局)

1 企業連携の継続

主に課題研究での連携の強化

2 高校の受験者数の増加に向けて

皆さんの協力もあり、卒業生の就職内定率は、100%が続いている。しかし、工業高校の入試は、募集定員をほとんど満たしていない状況になりつつある。そこで、次の活動を考えている。

(1) 小・中学校等への出前授業

県立高校改革推進プランに「工業教育への理解を深めるために、小・中学校等と相互に交流し、ものづくりへの興味・関心を高めるなど、積極的な広報を展開します。」と記載されている。コンソーシアムとしても手助けができないか思考中であるが、資金面で、材料費や交通費などを検討中である。

(2) 各工業高校にアンケート

小・中学校等への出前授業の実態調査アンケートを実施予定である。

その他

- ・一般財団法人千工会から財団設立の経緯や工業教育活動助成事業について、石橋理事長と幸田事務局長より話がありました。
- ・千葉県立現代産業科学館の藤田館長より、現代産業科学館の取り組みについての話などがありました。また、今年度の取り組みについては、コンソーシアムにも協力要請がありました。

2

コンソーシアム事務局よりお知らせ

・令和5年度職員研修会について

日 時：令和5年8月25日(金) 午後1時30分～午後4時45分

場 所：専門学校国際理工カレッジ 6号館(千葉市稲毛区穴川町386)

講 師：専門学校国際理工カレッジ職員

対 象：千葉県立高校の工業系高校の職員

研修内容：学校広報におけるPowerPoint活用方法について

主 催：工業系人材育成コンソーシアム千葉

・第17回高校生理科研究発表会(2023年度)について

発表方法：千葉大学にてポスター発表の形式で開催

開催期間：令和5年9月30日(土) 千葉大学西千葉キャンパス

募集期間：令和5年8月29日(火)～9月4日(月) 正午

主 催：千葉大学

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉事務局
事務局長(千葉工業高校教頭) 岩井 孝二

TEL:043-264-6251 FAX:043-268-5524